【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和4年9月6日(2022.9.6)

【公開番号】特開2021-118728(P2021-118728A)
【公開日】令和3年8月12日(2021.8.12)
【年通号数】公開・登録公報2021-037
【出願番号】特願2021-76105(P2021-76105)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　5/02(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/071(2010.01)
Ａ６１Ｐ　9/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/04(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10(2006.01)
Ａ６１Ｋ 35/33(2015.01)
Ａ６１Ｋ 35/34(2015.01)
Ａ６１Ｋ 35/28(2015.01)
Ａ６１Ｋ 35/545(2015.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　5/02
Ｃ１２Ｎ　5/071
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｐ　9/04
Ａ６１Ｐ　9/10
Ａ６１Ｋ 35/33
Ａ６１Ｋ 35/34
Ａ６１Ｋ 35/28
Ａ６１Ｋ 35/545

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月29日(2022.8.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＣＤ１０６陽性及びＣＤ９０陽性の成体心臓由来線維芽細胞を製造する方法であって、
成体心臓由来線維芽細胞を、ＴＮＦ－α及びＩＬ－４の存在下で培養し、ＣＤ１０６陽性及びＣＤ９０陽性の線維芽細胞を増加させるステップ、
を含む、方法。
【請求項２】
ＣＤ１０６陽性及びＣＤ９０陽性の線維芽細胞を濃縮するステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記濃縮が、抗ＣＤ１０６抗体及び／又は抗ＣＤ９０抗体を用いて行われる、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
Ｇ－ＣＳＦ陽性の成体心臓由来線維芽細胞を製造する方法であって、

成体心臓由来線維芽細胞をＴＮＦ－α及びＩＬ－４の存在の下で培養し、Ｇ－ＣＳＦの発現量を向上させ、Ｇ－ＣＳＦ陽性の線維芽細胞を増加させるステップ、
を含む、方法。
【請求項５】
前記培養後に、Ｇ－ＣＳＦ陽性の線維芽細胞を濃縮するステップをさらに含む、請求項４に記載の方法。
【請求項６】
前記濃縮が、抗ＣＤ１０６抗体及び／又は抗ＣＤ９０抗体を用いて行われる、請求項５に記載の方法。
【請求項７】
単離されたＣＤ１０６陽性及びＧ－ＣＳＦ陽性である成体心臓由来線維芽細胞を含む、細胞集団。
【請求項８】
線維芽細胞に対するＧ－ＣＳＦ陽性の線維芽細胞の割合（細胞数）が６．７５％以上である、請求項７に記載の細胞集団。
【請求項９】
成体心臓由来線維芽細胞を含む細胞集団であって、前記線維芽細胞の５％以上がＣＤ１０６陽性である、細胞集団。
【請求項１０】
成体心臓由来線維芽細胞を含む細胞集団であって、前記線維芽細胞の７％以上がＣＤ９０陽性、ＣＤ１０６陽性、且つＧ－ＣＳＦ陽性である、細胞集団。